

国民とともに歩む政権に向けて

(民主党代表選挙立候補政見)

衆議院議員 菅直人

鳩山総理が、重大な決意を持って辞任を表明されました。「普天間基地」、「政治とカネ」等の問題で、政権も民主党も国民の皆様から様々な厳しいご意見を戴いてきました。私も副総理として、また民主党の一員として責任を痛感し、国民の皆様にお詫び申し上げます。総理の辞任は、こうした局面を打破し、「国民に信頼される政権」を取り戻そうとするものであり、その思いをしっかりと受け止め、全身全霊で国民のために仕事をしてまいります。そのためにも、まずは参議院選挙の必勝に向けて、党の先頭に立って戦います。

国民の皆様の信頼回復のために、まず「政治とカネ」に対する厳格な姿勢を示し、クリーンな政治を政策実行の大前提として追求していきます。また、国民の声をしっかりと反映するためにも、これまで以上に党内の様々な声を政策決定につなげるために、自由闊達な党風をつくっていきます。

以下、私の立候補に当つての政権運営及び党運営に関する基本的な考え方を示します。

1、「国民の生活が第一」の政策実現のために

(1) ムダ使いの一掃と政官財の癒着打破

最優先で取り組むのは、マニフェストでもお約束したムダ使いの一掃です。「事業仕分け」などでその第一歩を踏み出しましたが、国家公務員人件費の削減、特別会計のゼロベースでの見直しなど本丸に大胆に切り込んでいきます。天下りの禁止など政官業の癒着打破にも、着手しましたが、さらに徹底した改革を断行します。企業・団体献金の禁止も実現します。

(2) 強い経済、強い財政、強い社会保障

現下の最大の課題の一つは、日本経済の再生と成長です。政府と日銀による総合的な政策を実施することによりデフレの脱却に取り組みます。そして、私が、国家戦略担当大臣として策定に関わった「新成長戦略」をいよいよ実行に移し、「強い経済」を実現します。国民の皆様の不安を解消するための年金、医療、介護、子育て、雇用政策などの充実すなわち「強い社会保障」は、新たな雇用、新たな消費を生み出し経済成長にもつながります。また、持続可能な「強い財政」も大きな課題です。ムダ使いの排除等による歳出改革を引き続き進めるとともに、抜本的な税制改革を含めた歳入改革を真剣に検討し、国民の皆様に正直に提起して参ります。この二十年間の閉そくを打破するために、「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」を一体的に実現します。

(3) 地域主権社会の実現と「新しい公共」の実現

国と地方の上下主従の関係を、対等の立場で対話のできる新たなパートナーとしての関係へと根本的に転換し、国民が自らの暮らす地域のあり方について自ら考え、主体的に責任を持って選択・行動できる地域主権型社会を構築します。

日本社会には古くからあったお互いが緩やかに支え合って地域や社会全体を元気にする仕組みを再生します。官や民間、個人などの立場をこえて多くの当事者たちによる自発的な協同の場、鳩山総理が掲げた「新しい公共」の考え方に基づいて、人や地域の絆を作り直しながら、人に優しいしなやかな社会を目指します。

(4) 力強く粘り強い外交・安全保障の推進

日本外交の機軸は、日米関係です。アメリカとの信頼関係をしっかりと構築すると同時に、成長が著しいアジア諸国ともしっかりと信頼関係を築く外交を推進します。まだまだ安定しているとはいえない東アジアの情勢に対応するため、米国との連携を含め、国民の生命・安全を守る安全保障を確立します。鳩山総理が取り組まれた普天間問題についても、日米合意を踏まえつつ沖縄の負担軽減に向け、息の長い粘り強い努力を続けます。北朝鮮の拉致問題の解決にも全力を尽くします。

2、 民主党の党風刷新のために

（1）すばらしい人材を使い切る全員参加の体制を

民主党には、人間性豊かなベテラン、働き盛りで経験豊かな壮年、優秀で行動力旺盛な若手と、それぞれの世代ですばらしい人材が沢山います。これらの人材を適材適所でしっかり働いてもらえる全員参加の体制を作つて参ります。

その際、地味で目立たない分野で地道に活動してきた多くの議員にもしっかり光の当たる体制を作るとともに、女性議員にも、もっともっと活躍の場を広げていきます。

（2）国民に開かれたオープンな党風をつくる

現場の声、国民の皆様の声をしっかりとお聞きするためにも、政策決定の一元化を維持しつつも、議員同士が自由闊達に議論できる政策調査会を設置します。内閣・党役員の人選は適材適所で行うとともに、民主党予算の手続きをオープンにするなど、ルールを明確にし、民主的で透明性、公平性の高い運営を行つてまいります。

以上